

地域から生まれる課題をプログラミングで解決! **イチゴベース** コラシム

IchigoBase通信 vol.1

2020年12月16日にオープン!

プログラミングを通してメンバーが集まり、地域社会に必要な
プロダクトを生み出す拠点、それが“IchigoBase”です。



日常のあらゆる場面を支え、便利にしているコンピュータ。それらのコンピュータを動かすために欠かせないのがプログラミングです。テクノロジーが急速に進化する社会で生きていくために、プログラミングスキルは今後ますます必要になっていきます。

IchigoBaseは、地域や企業、県民の困りごとをプログラミングで解決することを目指します。メンバーは、ソフトウェア制作会社ナチュラルスタイルと福井新聞社のスタッフに加え、プログラマーを夢見る子どもたち。

福井駅前のビルの一室を改装した“秘密基地”に集まり、メンバーで力をあわせ、楽しみながらプロダクト開発をしています。

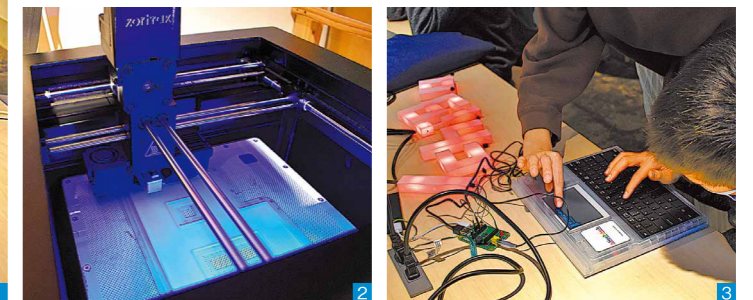
IchigoBaseのメンバー

福井新聞社はこれまでプログラミング・フェスなど、県内の子どもたちへプログラミングに親しむ機会を数多く提供してきました。その参加者などの中から、「将来の役に立つ技術をもっと身につけたい」「プログラミングからものづくりまで経験してみたい」という小中学生をメンバーに迎えました。課題を捉え、解決に導くところまで、全て自分で考えることが基本。IchigoBaseは子どもたちにとってより実践的な学びの場でもあります。



まずは腕だめし 光る3D看板を作ろう!

常設の3Dプリンターを活用し、拠点に飾る
IchigoBaseの看板作りにチャレンジ。



1 ナチュラルスタイルのスタッフに質問しながら、真剣な表情で作業に没頭 2 設計データをもとに、3Dプリンターで立体物を印刷していく 3 立体物にとりつけたLEDを思い描いた通りに光らせるプログラムを作成 4 試行錯誤を経て、Ichigoの3Dロゴを赤と緑に点滅させることに成功!



看板完成!

メンバーたちが試行錯誤しながら課題解決していく姿を、IchigoBase通信で定期的にお伝えしていきます。

NEXT TRY

協賛社の3Dロゴも制作中!

看板作りの技術を応用して、より複雑な協賛社の光る3Dロゴ作りにもチャレンジします。



事務局からのお知らせ

メンバーについて

地域や企業の課題解決を目標に活動するため、一定程度の知識やスキルが必要です。

困りごと募集

IchigoBaseで取り組んでほしい困りごとを募集しています。

✉ ichigobase@gmail.com

🌐 <https://ichigobase.net/>

🐦 [Twitter_@Baselchigo](https://twitter.com/Baselchigo)

ご興味ありましたら、メールにてお気軽にお問い合わせください。

【運営】福井新聞社・ナチュラルスタイル

【協賛】福井コンピュータホールディングス株式会社・株式会社 法美社